



ガンバ大阪

「ガンバ大阪スカンビオカップ」3年ぶりに開催！ 1/2

ガンバ大阪では2008年からJリーグの協力を得て、精神障がい者スポーツ「Gスカンビオ」(フットサル)に取組んでいます。「スカンビオ」とは「交流」を意味するイタリア語です。ガンバ大阪では精神障がい者がスポーツを通じて、少しでも社会復帰を後押しできる場をつくり、その一助になればという想いでこちらの大会を実施してきました。今年は全国各地から8チーム、約100名が集い笑顔に包まれるフットサル大会が実施できました。



活動場所 大阪大学吹田キャンパスグラウンド「すいらん」



協働者

NPO、住民、学校、病院

協働者名

公益社団法人日本プロサッカーリーグ、
NPO法人日本ソーシャルフットボール協会、
特定医療法人 大阪精神医学研究所 新阿武山病院、
履正社医療スポーツ専門学校



協働者の声

特定医療法人 大阪精神医学研究所 新阿武山病院／院長 岡村 武彦 氏



ガンバ大阪スカンビオカップは、2008年に本邦初の精神障がい者フットサル全国大会として始まりました。2021年はコロナ禍による困難な状況での3年ぶりの開催でしたが、多くの笑顔が戻りました。ボールが人と人をつなげ、人の心を豊かに強くしていくまさにSDGsの取り組みの一つとして今後も期待しています。



活動詳細情報

[公式サイト](#)

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ





ガンバ大阪

「ガンバ大阪スカンビオカップ」3年ぶりに開催！ 2/2

Story

Gスカンビオは、2008年からスタートし主に関西交流大会または全国大会まで幅広く実施してきました。

ホームタウンにある、医療機関の院長先生によって、「スカンビオ=交流」(イタリア語)と名付けられました。

ここ2年間は、天候状況やコロナの影響もあり、活動ができない時期が続きましたが、久しぶりの開催ができたことを嬉しく思っています。

久しぶりにピッチで集い、交流できたことで、参加された方々の「笑顔」が本当に素敵だと改めて感じることができました。



10年以上取り組んできたこの活動ですが、スカンビオカップをスタートした頃に、当時参加されていた方の中で、時間の経過とともに、しっかりと社会復帰をされた方がいるとお聞きしました。

このお話を聞いた時に、我々の活動の目的もある、「社会復帰の一助となる」ということが、少しは役立てたのではないか、そしてもちろん、その方による、日々の努力が一番だと思いますが、我々のこういったサッカー交流のきっかけも、社会に貢献できているのではないかと思っています。

我々ガンバ大阪では、まだまだ、コロナが落ち着かない状況が続く中で、社会状況に不安を抱える方々も多くいらっしゃると思います。そのような状況の中で、我々としても、このGスカンビオのような取組みを一つでも多く取組み、地域の方々に対して、「ガンバ大阪がこの地域にあって良かったな」と思ってもらえるようなクラブになっていきたいと思います。今回、約3年ぶりに開催できましたが、2022年も実施できればと思います。

今後のガンバ大阪の取組みにも、ぜひご注目頂けたらと思っています。

